



保健医療学学会創立 10 周年に寄せて

保健医療学学会第 9 回学術集会 集会長

藍野大学 医療保健学部 理学療法学科

後藤 昌弘

保健医療学学会創立 10 周年、謹んでお慶び申し上げます。創立当時の役員の皆様、会員の皆様のご尽力、ご協力の賜物だと思います。

本学会は、平成 22 年、医療、保健、福祉、教育にとどまらず、情報技術、工学技術、スポーツなど、多種多様な領域の専門家が相互に交流することを第一の目的として設立されました。私が大会長を務めさせていただいた第 9 回保健医療学学会は、10 周年という節目を目前にした年であり、本学会が益々発展するためにも次世代の育成に一役買おうと、初の試みとして理学療法士養成機関在校生による卒業研究コンペティションを施行しました。養成機関在学中からの研究経験がその後の専門家としての志向や成長に繋がって欲しいという思いからです。

登壇した学生は、初めての学会発表に緊張しながらも自己の研究成果を発表し、質疑にも懸命に答え、終了後は達成感に笑顔を輝かせていました。境界を超えた集団的な創造活動から生まれる発展について示唆を与えてくれる理論としては、ユーリア・エンゲストロームの活動理論があります。本学会においても研究領域や参加者の職種がさらに広がることはもちろん、所属機関、教員と学生という立場の垣根を超えた拡張的な対話や協同から新たな関係、発展が得られるのであれば、教育に携わる者としてこれ以上喜ばしいことはありません。

関係各位のご活躍と今後のご健勝をお祈り申し上げますとともに、皆様の交流から生まれるエネルギーによって本学会が益々発展していくことを祈念いたします。